

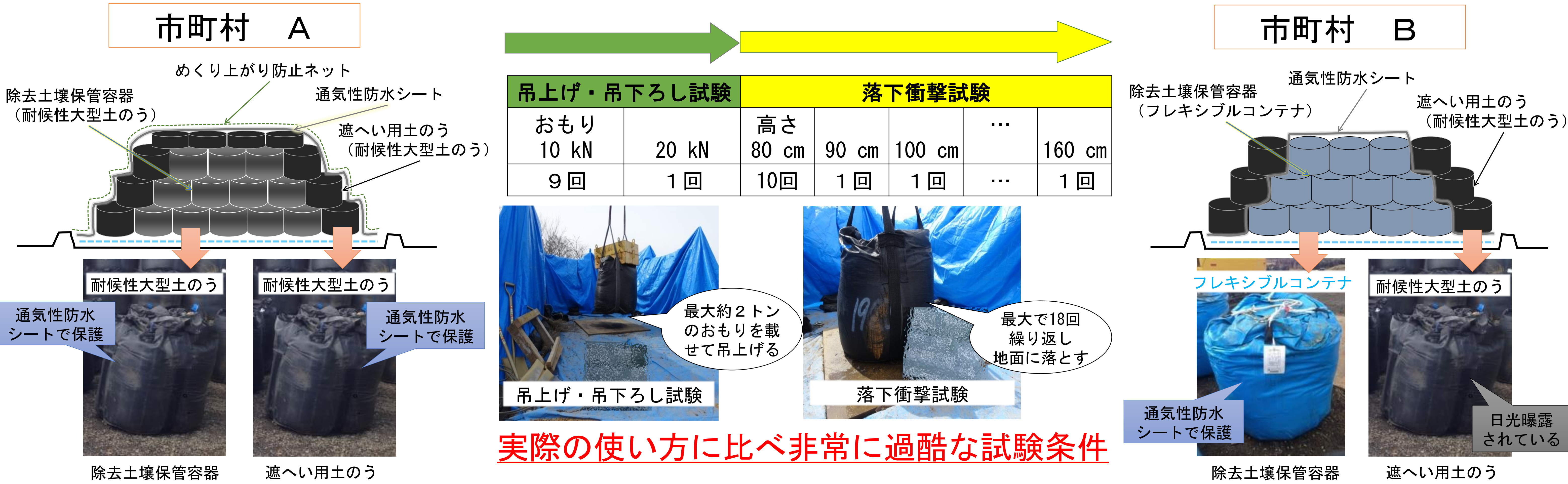
除去土壌等の仮置場等における保管の長期化に伴い、保管容器の耐久性に対して懸念があった。本研究では、実際の仮置場で使用された保管容器の耐久性を袋体性能試験により評価した。仮置場で遮光保管された保管容器については、経年変化によって耐久性が低下する傾向が見られるものの、多くが実用に支障ない水準で強度が保たれていることを確認した。一方、日光曝露された保管容器については、耐久性低下が早く、取扱いに注意が必要であることを確認した。

はじめに

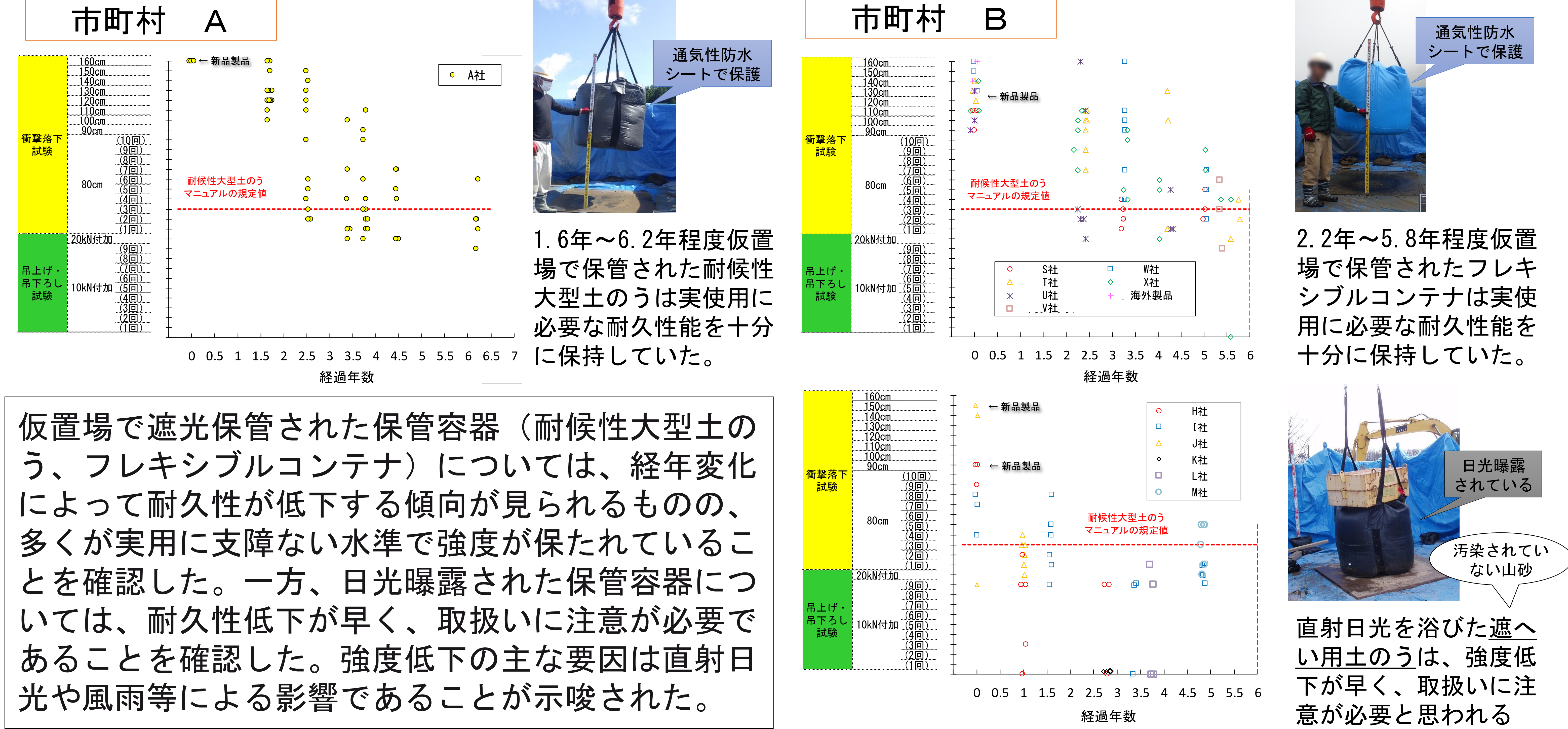
- ・ 除染活動で発生した除去道場等は中間貯蔵施設へ搬入されるまでの間、仮置場等で保管された。
- ・ 仮置場における保管は、当初3年程度を想定していたが、長期化する仮置場が多かった。
- ・ 実際の仮置場で使用された保管容器を回収し、袋体性能試験によりその耐久性を評価した。

方法

県内2か所の仮置場を選定し、実際に使用された保管容器（除去土壌等保管容器及び遮へい用土のう）の袋体を回収し、吊上げ・吊下ろし試験と落下衝撃試験を実施した。



結果



引用文献

1) 高橋勇介：福島県内の除去土壌等仮置場における保管容器の長期耐久性の調査。ジオシンセティックス技術情報，34（2）（2018）。